



**Bulletin
NO.821**

**AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE SERVICE CLUB TO THE YMCA**

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO

2016, 4

68th

CHARTERED 1947

CLUB OFFICE / KYOTO YMCA : Yamaginobanba, Sanjo, Nakagyo-ku, Kyoto 604-8083 Japan Phone(075)231-4388 http://www.kyotoys.com/

2015～2016年度 主題

国際会長(IP) Wichian Boonmapajorn (タイ)

Theme: "Mission with Faith" 主題『信念のあるミッション(使命・目標)』

Slogan: "Count Your Blessing" 標語「恵みを数えよう」

アジア地域会長(AP) Edward K.W. Ong (シンガポール)

Theme "Through Love, Serve" 主題『愛をもって奉仕をしよう』

Slogan "Let it Begin with Me." 標語「まず自分から始めよう」

西日本区理事(RD) 遠藤 通寛(大阪泉北)

主題:『あなたならできる! きっとできる』 "You can do it! Yes you can!"

副題:—生きる しなやかに さわやかに— "Live flexibly and refreshingly"

京都部部长(DG) 高田 敏尚(京都)

主題『いつも喜んでいなさい』 "Be joyful always"

強調月間

YMCAサーブिसの月
ASF

会長	合田 太一
副会長	田中 孝明 大田 龍二
書記	相原 隆幸 西村 博一
会計	中村 泰之

京都ワイズメンズクラブ 第68代会長 合田 太一

"Reborn" 『生まれ変わる、未来のために』

大きな物語



わたしの父の家には住む所がたくさんある。

(ヨハネ14・2)

「SF」とは「空想科学」と訳されますが、これはそんな堅いものではなくて、いわば「冒険活劇」、飛び交う宇宙船とレーザー光線の下には、強大な悪者と勇気ある騎士との戦い、囚われのお姫様、伝説の宝物、光り輝く剣、一緒に戦う仲間、それもおっちょこちょいの可愛いヤツ、と、観る者の心が躍る要素が一杯です。

新作では、女性の主人公が登場します。強く、たくましく、けれども繊細で優しい女性です。大きな目に涙を一杯浮かべながら、歯を食いしばって戦う姿がとても美しいです。

公開は昨年末でしたが、年が明けて、小学生の女の子から「ブリテンにスターウォーズの事、書いたら? 教えてあげるから」と言われ、またYMCAでは何人もの子どもたちが手作りのライトセーバーを持っていたり、お家から持ってきたであろうパンフレットや図鑑を熱心に読んでいました。こんな子供たちまで夢中になっているのに、驚きました。高い年齢層の第一世代から、小さな子供たちまで、スターウォーズは幅広い人々に喜ばれる物語になりました。

かつては私たちの社会の中に、多くの人々が共有できる物語や文化がありました。「源平合戦」や「赤穂浪士」等の

映画「スターウォーズ ～フォースの覚醒～」から歴史物や、「巨人、大鵬、卵焼き」のようなスポーツ、またヒットした歌謡曲などがありました。今は、そのような物が殆ど無くなったように思います。今、スターウォーズがそのような役割をも担っているのでしょう。

イエス様の時代には、みんなが共有しているものがありました。それが旧約聖書であり、それに基づいた信仰生活でした。イエス様は、みんなの共通理解の上に、たとえ話を語り、神様の教えの真理を語られました。後には、キリスト教が世界に広がり、今度はイエス様の物語そのものが共有されるようになりました。イエス様の教えは、信じている人が多いだけではなくて、多くの人々を受け入れる教えです。人の弱さを受け入れ、カづけ、正しい道を示し、神様がいつも共に居てくださることを教えてくれるものです。

みんなが共有し、長年にわたって受け継がれる物語は、きっと優しい物語なのでしょう。人の弱さと罪深さを受け止め、愛と赦しを経験し、罪にくじけず悪を克服し、みんなと共に歩んでゆく、そのようにしてみんなをカづけ、勇気と希望を与えるものなのでしょう。これからも、YMCAの内外で、そのような物語が共有されてゆくのでしょう。



3月例会出席者及び出席率 在籍者31名
例会出席者26名 ゲスト3名 ビジター0名
メイクアップ2名 3月出席率→90.3%
2月最終出席率 メイクアップ後確定→93.8%

ニコニコ
3月分 3,000円
累計 75,300円

クラブファンド
3月分 0円
累計 722,280円

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"



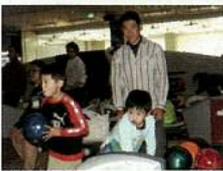
2月28日(日)

第13回 京都部チャリティボウリング大会 しょうざんボウル



今年度の京都部ボウリング大会は、ネパール地震災害者支援協力としてのチャリティボウリングでした。

今年で13回目となる惟しですが、京都部の各クラブからは奉仕支援されている福祉団体からも多くの参加があり、総勢210数名での開催となりました。我が京都クラブからは総勢15名の参加で、内訳は合田会長一家の4人と、初参加の山本ワイズとコメント。そして、久しぶりに彦根シャトークラブから正村ワイズと河口会長が参加いただきました。いつもなら一緒に投げている故正村ワイズの夫人は、観戦での参加でした。



高田部長はピンクシャツでの開会挨拶のあと、ガターで始まる始球式。まだ手の骨がくっついていないのかな？ 大会が始まり、合田会長のコメントたちは、いつもの元気を重いボウルにぶつけながら楽しんでいてくれたようです。直前会長の代理として急きよ参加いただいた多賀メネットは、こんなに楽しいボウリングなら来年も来たいと一年後の予約までしていました。山本ワイズはコメントを連れての初参加。パワーボウリングを見せつけられ、年齢を感じてしまいました。コメントの優也君も楽しんでくれたようでホッとしました。骨折の後遺症のため、高田部長にはコメントが参戦。その間の部長はマゴットのお守りだそうです。正村ワイズは最後までレーンに苦しんでいたようですが、河口会長は多くのワイズメンとの交流も忙しい中、上手くスコアをまとめていたようです。



ゲーム終了後はクラブ対抗のトーナメント試合アトラクション。合田会長が代表として参加。各クラブ代表者はボウリングに精通するワイズばかり。京都クラブはシードで2回戦からとなりましたが、相手方がヘッドピンを外し、会長はストライクで勝ち。続く準決勝では何と相手は不覚のガター。ラッキーな勝ちで決勝へ進むが、直球勝負のど真ん中に投げたボウルでわずかに1ピン差の2位となりました。

表彰は、日丸ワイズが昨年に続きベスト3位。そして団体戦では優勝となりました。合田コメントの二男の関くんが90位の賞を受け、飛びあがって喜んでくれました。家族で参加できるスポーツとしてこれからもメンバー家族の交流の一つとして楽しんでいきたいと感じた事業でした。今回のチャリティ募金の43,000円は京都YMCAを通じてネパールに送られることになりました。感謝。



3月8日(火)「京の伝統野菜を守る研究班の活動について」～3月例会

3月は、地域奉仕・環境事業の講師例会として、京都府立桂高校農業科から松田利彦先生をお招きして講演をしていただきました。既に三条通りで知られるところとなった京都クラブの「京野菜マルシェ」は、桂高校とのコラボも意図していましたので、これからのプログラム発展のためにもお聞きしたい内容でした。

講演の中で何度も話された言葉の「振売り」を調べたところ、『平安時代からカゴを前後に取り付けた天秤棒を振り担いで商品を売り歩く様』（ブリタニカ）との事。昔は農家が町で振売りして、「美味しくないと野菜は買ってくれない」と毎日味を極める為にしのぎを削っていたそうです。さらに平安京は3つの山と豊かな川に恵まれ、宮廷料理や茶道など味を大切にする文化が京野菜を育てる土壌にありました。

もう一つ頭に残った言葉が「種」です。古来、大陸から野菜の知識は得られたものの、地方から都に新鮮な野菜を運ぶには時間がかかり過ぎるため「種」を持ち帰ったそう

です。その為「種」は何よりも貴重で、千年経った現在、桂高校の生徒さん達が京の伝統野菜栽培に取り組んだ際に、初めは地元の農家さんからなかなか「種」を分けて貰えず苦労されたのは、何か壮大なロマンを感じます。

松田先生は剣道六段で、剣道部を指導しながら7年前に「伝統野菜プロジェクト」を始められました。その後高校生によるこの取り組みがメディアにも取り上げられるようになり、京の伝統野菜が見直される中、桂高校を巣立って、学んだ京野菜を基に栄養士として活躍されている教え子もおられるそうです。今後、益々のご発展を祈るばかりです。

お話の内容全てを紙面に列記できないのは心残りですが、京都クラブの地域奉仕事業の一つである「京野菜マルシェ」は、京の伝統野菜を栽培する農家や、有機農法で野菜作りに励む若者たち、その野菜を安全な食材に加工販売する人たちなどの思いを応援し、これからも地域に向けた広報活動として発展させていくことにも、地域奉仕事業としての意義を確認することが出来たように思いました。





2月27日(土) 取材コーナー

第13回 発達障がい児理解セミナー

子どもが本当に伝えたいこと！
～保護者の関わり方・先生の関わりから見える子どもの問題行動～

京都みやびクラブが共催し、京都YMCAの主催で毎年開催されているこのセミナーの知っているワイズメンが何人いるのでしょうか。

京都YMCAの発達障がい児サポートプログラムには、小学生ソーシャルスキルトレーニングの“PRITS (プリッツ)”、”野外活動の“わんぱくチャレンジクラブ”と中高生ライフスキルトレーニングの“エツナ”、女の子のためのライフスキルの“P o l i t e (ホライト)”という四つのチームがあってプログラムを展開しています。

京都クラブが京野菜マルシェをやりはじめて、『私達は、発達障がい児のサポートプログラムに取り組む京都YMCAを支援します。』のキャッチフレーズを掲

げた関係で知った私がこのセミナーに参加するのも4回目となります。

今回のセミナーは、花園大学社会福祉学部の小谷裕実教授の基調講演、京都市教育相談センターの長谷川係長と天理市立柳本小学校の鳥山晃子校長の実践報告とワークショップがありました。小谷先生が毎回監修されておられるようで、小谷氏のお話だけでなく、各学校の先生や YMCAの担当主事、保護者の方々など、各々のお立場でのお話も聞ける実りの多いセミナーです。

これまでにこのセミナーの会場でお会いしたワイズメンは、受付や開閉会挨拶などを担当されているみやびクラブのメンバー3～4名と、前回のセミナーに参加されていた三保ワイズだけです。京都YMCAの様々な社会福祉活動の世間に訴えていく使命を持っているはずのYMCAの会員であるワイズメンが、このようなYMCAらしい活動に興味すら示さない現状を悲しく思います。と同時に、長年支援を続けておられる京都みやびクラブさんのワイズとしての素晴らしい活動に敬意を表します。



今年も競技用レーサーが颯爽と都大路を駆け抜けました



3月13日(日)

第27回 全国車いす駅伝競走大会

今年も競技用レーサーが颯爽と都大路を駆け抜けました。第27回全国車いす駅伝競走大会は例年通り宝ヶ池グランドプリンスホテル前スタート、西京極陸上競技場をゴールとして開催されました。

京都クラブをはじめとしたワイズメンズクラブは4か所ある中継所の乗降介助を担当しています。金澤ワイズは京都YMCAの代表として午前7時半に、石若CS委員長とレーサー運搬担当の高田ワイズは午前8時に ホテルに集合。我々一般人は8時半に集合しました。最初は我々が担当する第2中継所へ行くバスに乗車する選手の皆さんをお手伝いします。第2中継所は今年も京都トゥービークラブと合同での担当となりました。選手の皆さんと一緒にバスで第2中継所の平安女学院前まで行き、今度は降車のお手伝いです。



バスから二人で両サイドから抱えて降車し、レーサーに移動します。ここではそのまま競技用のレーサーに乗り込んでもらうのですが、オーダーメイドで体にぴったりの設計となっているため、乗り降りにはかなり時間を要します。そのため抱える人の負担はかなりのものになります。介護が必要になってきた(笑)京都クラブのメンバーには少々無理な作業になってきていると思われます。因みに京都クラブの参加者の年齢は、相原33、石若66、大田63、金澤70、合田33、佐々木69、高田60、田中孝62、田中俊65、西村66、中村52です。

西京極陸上競技場内の通路で、恒例のカレーと豚汁の昼食をいただき体育館での閉会式を見学。結果優勝は東京、2位岡山、3位京都Aでした。最終の介助は京都駅にて、JRで帰る選手の降車とレーサーの受け取りです。そこで中国ブロック主将の福場輝昭さんとお話する時間がありました。奥さん(コーチ)と一緒に新幹線

で山口まで帰るという事でした。レーサーも一緒に持って帰ると言うことで、立てかけるスペースがあるそうです。また、身障者用の個室もあるそうです。知りませんでした。この福場さん、国体記念の大会から皆勤参加だそうです。我々と一緒に話すと話が弾みました。

福場さんをお見送りした後はこれまた恒例の反省会？です。12・13日と1泊で次期会長研修会に出席していた三保次期会長も呼ぼうという事になり電話したところ、松ヶ崎まで帰っていたにも拘らず京都駅まで戻ってきて参加して頂きました。1杯100円のドリンクを8人で100杯飲もうと大いに盛り上がりましたが、結果85杯どまりでした。残念…。お疲れ様でした。





1. 夜桜フェスタ

夜桜フェスタは、今回で17回を迎えます。

NEWS 春の香り漂う自然を感じつつ、ライトアップされた幻想的な八重桜をお楽しみください。

日時：4月17日(日)午後5時～8時
会場：京都YMCAリトリートセンター(宇治市二尾宇川18)
参加費：大人(中学生以上) 2,000円/名 小学生 1,000円/名 幼児 無料

チケット販売：京都YMCA三条本館1F窓口
お問合せ：(TEL)075-231-4388/(FAX)075-251-0970
(E-mail)ritcen@kyotoymca.org

※無料送迎バスもあり(定員になり次第締切)
※国際協力チャリティーバザーにご寄贈いただける物品を受け付けています。(未使用品でお願いします。)

2. YYYフォーラム

日時：4月30日(土)午後2時～午後4時
場所：京都YMCA地階マナホール
対象：YMCAと関わるワイズメン、ユース、ボランティアグループ、職員等
進行：宇高 史昭氏(京都プリンスワイズメンズクラブ)

3. 第12回インターナショナル・チャリティーラン

参加・協賛申込 受付中

今年で第12回を迎えるチャリティーラン、今年は5月22日(日)に開催いたします。チャリティーランで集められた支援金は、全国のYMCAや京都YMCAが行う障がいのある子どもたちのためのプログラムに用いられます。ただ今、参加・協賛のお申込みを受付中です。多くのご参加、ご協力をお願いいたします。

参加申込…リーフレットの専用振替払込用紙に必要事項をご記入の上、京都YMCA三条本館1F窓口にてお手続きいただくか、大会HP(<http://kyotoymca.or.jp/c-run>)のメールフォームよりお申込みください。

協賛申込…リーフレット同封の協賛申込書にご記入の上、京都YMCA三条本館1階窓口にてお手続きください。

お問合せ：(TEL)075-231-4388/(FAX)075-251-0970
(E-mail)c-run@kyotoymca.org

(4月の予定)

3日(日)京野菜マルシェ	9:00～三条Y駐輪場
5日(火)役員会	19:30～三条Y
10日(日)野外例会	11:30～京都駅集合→海津大崎
17日(日)リトセン夜桜フェスタ	17:00～リトリートセンター
30日(土)YYYフォーラム	14:00～三条Y・マナホール

(5月の予定)

6日(金)役員会	19:30～三条Y
10日(火)例会	19:00～ホテル日航プリンセス京都
22日(日)かもがわチャリティーラン	8:30～鴨川河川敷会場



役員会報告

2015-2016年度 3月 役員会
3月1日(火)17:30～於 三条YMCA
出席役員：13名 欠席役員：5名

<議案>

- 一、杉本Ys入院お見舞いの件 お見舞金 5000円 ⇒ 承認
- 二、杉本Ys退会について 退会時期 2月末 ⇒ 承認

<会長・三役会報告事項>

- ①今期の献金受賞対象の会員数は今期期初の7月1日の半年報に基づく32名→33名に修正して計算する。
Yサ献金2000円×33名=66000円 RBM献金800円×2口×33名=52800円
東日本大震災復興支援献金 10000円 YBF補助26200円
合計155000円(TOF献金を除く)
- ②次期事業委員長について 次期会長より発表⇒詳細は一斉メールにて
- ③福井氏のオリエンテーションについて
オリエンテーションの日程 3月2日19:30～三条YMCA
- ④ファンド委員長の引継について
代理として委員長は中村Ys、委員会会計については田中孝Ysが引継
- ⑤京都部チャリティボウリング大会にて京都クラブが団体優勝

<各事業委員長報告>一次回委員会日程は別紙日程表に記載—

- Yサ・ユース:アルバムは26日に無事完成。20日ミニバスケット。
- 地域奉仕・環境:8日にCS例会(桂高校)。13日車椅子駅伝(詳細はM/Lで)
- ドライバー:2日福井メンバー候補のオリエンテーションを実施予定
- EMC:舞鶴YMCA訪問講演会&賀詞交換会盛会に終了。
4/10野外例会(山崎ウスキー工場見学を予定?)
- 交流:特になし。
- 広報:HPにて2月例会UP済み。ネット上にて動画確認可能。
- ファンド:委員長業務引継。
- プリテン:プリテン発送日は検討。3月の企画は役員会後検討。
- 文献保存:特になし。

京都部:9日PR委員会。評議会にてワッペンシールを作成してみた。
*次回役員会:4月 5日(火)19:30～21:00 三条YMCA

京都クラブのプリテンは、コスト削減のためパソコンで編集し、クラブ所有のレーザープリンターで450部手作りで作製していましたが、最近印刷をネット印刷に変更することによって、さらに大きくコストを下げることに成功しました(年間予算10万円)。このプリテンは京都クラブのホームページ <http://www.kyotoys.com/> では月初にご覧いただけます。このプリテンに関するご質問、ご意見、ご感想などを
E-mail : tanupon@mbox.kyoto-inet.or.jp
プリテン編集長・三井哲次までお寄せください。お待ちしております。



3月20日(日)

第3回 Yカップミニバスケット大会にワイズが昼食支援



大会のスポンサーを募集しながら第3回を迎えた「The Y cup 京都ミニバスケットボール大会」が、3月19日(土)



・20日(日)に横大路運動公園体育館にて開催されました。当日配布のパンフレットに掲載される協賛広告や協賛金でなんとか運営されているのが現状で、実績を重ねることによって、一日も早くスポンサーが見つかることを願うばかりです。今年は六つのワイズメンズクラブが昼食提供の支援を引き受けました。京都クラブもそのひとつとして20日の昼食に、熱々の肉まん180個を配布しました。当日は良い天気にもかかわらず冷たい風が吹きあれる一日で、肉まんと並んで各クラブが用意された焼きそばやちぢみ、豚汁など温かい食事が喜ばれました。こうして昼食を提供したり協賛したりするのも大事なYMCAサービスではありますが、ワイズとしてはさらに、スポンサーを探してきてYMCAに紹介するようなYMCAサービスが出来る存在をもめざしたいと思えます。

